



糖尿病と薬

糖尿病の薬物療法とは？

糖尿病治療の基本は、運動療法と食事療法ですが、それだけでは血糖コントロールがうまくできないときに、補助的に薬物療法を行います。ですから、薬物療法を行っているからといって運動療法と食事療法が不要というわけではありません。

(治療薬)

(A) 血糖を下げる薬

① スルフォニル尿素剤

すい臓で作られ貯蔵されているインスリンの分泌を促し、血糖を下げる薬です。
当院採用薬・・・グリミクロン錠、ダオニール錠(1.25mg、2.5mg)、アマリール錠

② 速効性血糖降下剤

インスリンの分泌を促し、食後の高血糖(食後の血糖の上昇)を抑え、血糖を下げる薬です。
薬を飲むとすぐに作用が現れるため、食直前に服用します。
当院採用薬・・・ファスティック錠

③ インスリン注射剤

不足しているインスリンを補充します。

1型糖尿病、経口血糖降下剤では効果不十分な時、手術の時、糖尿病合併妊婦などに使います。注射部位は決めて、注射場所は毎回2～3cm ずつ移動させてください。

インスリンは、冷蔵庫に入れて保存し絶対に凍らせないでください。また、一度凍らせたインスリンは絶対に使用しないでください。ただし、使用中のインスリンは、冷蔵庫に入れなくて高温になる所、直射日光の当たる所を避け室温で保管してください。

④ 食後過血糖改善剤(α -グルコシダーゼ阻害剤)

糖尿病になると、インスリン分泌が遅れるため、食後は血糖値が急激に上昇します。この薬を食直前に飲むと、糖質の消化・分解を遅らせ、食後の急激な血糖の上昇を抑える働きがあります。

当院採用薬・・・グルコバイ錠、ベイスン OD 錠

#注意

- ・ 食事の直前にお飲みください。
- ・ 低血糖時には、ブドウ糖をお飲みください。(砂糖ではダメ!)
- ・ 腹部膨満感などの消化器症状が現れることがあります。

⑤ インスリン抵抗性改善剤

インスリン抵抗性とは、血中にインスリンがあるにもかかわらず、体の反応が鈍くなって血糖

値が下がらない状態をいいます。

このインスリン抵抗性を少なくして、インスリンの作用を高め血糖値を下げる薬です。

当院採用薬…ジベトス B 錠、アクトス錠

(B) 合併症治療薬

⑤ アルドース還元酵素阻害剤

糖尿病の合併症の1つとして、しびれ感や痛み(末梢神経障害)があります。これは、高血糖状態でブドウ糖から生成された多量のソルビトールにより、末梢神経細胞が障害されるためです。

この薬は、ブドウ糖からソルビトールができるのを抑え、細胞機能障害を防ぎます。

当院採用薬…キネダック錠、

低血糖について

インスリンや血糖降下剤の過剰投与、また、正しい薬の量を使用しても食事の量が不十分であったり、食事の開始時間が遅れたり、過度の運動、下痢などで食物の吸収が十分行われない場合などの時に、低血糖が起こることがあります。

症状としては、冷や汗が出る、手が震える、舌が回らない、吐気・嘔吐、強い空腹感などです。

初期症状が出現したときに、適切な処置をすれば通常は回復します。

低血糖状態が長く続くようなことになれば、生命にも関わりかねない、危険な状態になります。

低血糖が起きてしまったら…

砂糖(10g)か、糖分を多く含む食品1単位(キャラメルなら4個が目安)を食べて、安静にしておさまるのを待ちましょう。ただし、ベイスンOD錠やグルコバイ錠を服用している人は、ブドウ糖(砂糖ではダメ!)をとってください。

糖尿病の薬を使っている人は、外出時には必ず、砂糖、ブドウ糖などを持って出かけましょう。

他の病気にかかった時

糖尿病薬は、他の薬剤と併用することにより、効果が強く表れて血糖が下がり過ぎたり、効果が弱くなったりすることがあります。

他の医療機関にかかれた時はご自分が使用されている薬の名前を、医師または薬剤師にお知らせください。

糖尿病教室のお知らせ

当院では、毎週月曜日午後1時30分より、2号棟3階会議室において、医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師による糖尿病教室を行っています。入院・外来の患者さん共に自由に参加できますので、ふるってご参加ください。日程表は、内科外来、薬剤部窓口前などにあります。

平成18年11月作成
兵庫県立西宮病院 薬剤部